

平成 30 年 1 月 15 日（月）午前 10 時～10 時 45 分

於：光が丘図書館視聴覚室

図書館長会（1 月）記録

1 光が丘図書館長 挨拶

大変寒くなってきたが、皆さんお変わりはないか。各館においてはインフルエンザや風邪を引いたりする職員がいるのではないかなと思うが、これからが寒さの本番を迎えるので、職員の体調管理には気をつけていただきたい。来月は議会が始まる。2/2 から 3/9 まで第一回練馬区議会定例会がある。第一回定例会は、30 年度の予算審議である。議員は図書館に対する関心が高いため、従前から様々な質問や資料の要求がある。1 月末になるとそれらの依頼が出てくると思われるので、各館が持っているデータや、資料の提出依頼をさせていただくこともあるかと思う。その際はよろしくお願いいたします。

< 案件 >

2 報告・連絡事項

(1) 管理係報告（資料 1）

① 議会・委員会報告等 →資料のとおり

② 図書館関係苦情・相談、広聴回答（12 月分）→資料のとおり

・広聴回答 2948「Wi-Fi の整備について」

→文化施設等については、情報政策課にて 31 年度に配備予定。ただし、図書館全館に配備されるかは不明。

・広聴回答 2944「自習室について」に関連して

【貫井】

視聴覚室を夜間に「学習室」として開放している。学習室では図書館資料を使わないといけないというような決まりは定めていないが、ホームページへの記載についてはどのようなようになるのか。

【管理係】

自習室に関する内容のホームページへの掲載については、各館の運用と齟齬がないように調整する予定。

【石神井】

南大泉青少年館の自習室に関する意見の中で、「有料」と記載があるが、有料となるのは団体貸出しの場合で、特に青少年は青少年団体登録をすると無料になるはず。この件についての回答はどうなっているのか。

→青少年館に関する質問の回答は、青少年課より行っている。（合わせ回答）

③平成 29 年度利用者アンケートについて→資料のとおり

・27、28 年度は平和台、関町の改修工事があったため、回収枚数が少なかったが、29 年度は、各館のご尽力もあり、回収枚数が大幅に増えている。アンケートは来年度も実施するのでよろしく。

(2) 運営調整係報告

特になし

(3) 事業統括係報告

特になし

(4) 子供事業統括係報告

特になし

(5) 各館から

【管理係】

学校教育支援センターは区民に広く周知する目的で、毎年6月に教科書の展示会を行っている。現在、教科書センター（学校教育支援センター内）、大泉の教育相談室のみ展示しているが、区民等から展示場所を増やしてほしいといった要望があるため、図書館に展示の協力依頼があった。来年度は、大泉と関町に協力してもらうことになった。状況によって再来年度は、展示協力を大泉、関町以外の図書館にも広げるかもしれない。

3 情報交換その他

○各館の「本の福袋」についての報告

【光が丘】

- ・事業統括係：一般は文庫本（自作のブックカバー付き）、単行本の2種類用意。1/8 まで実施したが毎日全部貸し出され、例年通り好評だった。
- ・子供事業統括係：絵本の福袋は、1週間で161袋の貸し出しがあった。大変好評だった。

【練馬】

今年は、売り切れ御免ではなく、なくなったらまた作るというコンセプトで行ったところ、児童、一般あわせて327袋まで数字が伸びた。職員がよくやってくれたと思う。利用者にも好評だった。

【石神井】

年末年始に前期・後期というかたちで実施。どちらも3日程度でほぼなくなった。なお、児童用の袋については、選びやすいように年代別で分けたが、最後まで残るのが青少年用と小学校高学年用だった。選ぶ人（親か自分か）が影響しているか。12/20 にジェイコム取材を受けた。全館の取り組みについて情報提供したところ、12/21 の夕方のニュースで紹介された。

【平和台】

年代別（児童・青少年・一般）に作成。児童用は即日なくなった。一般の方も1/5に出したところ、1/7にはなくなった。好評だった。

【大泉】

今回初めて行った。1日だけの実施で、90袋出して75袋の貸し出しがあった。中身を見てから借りたいと言ってきた利用者がいた。

【関町】

1/5～7で実施。児童向け、大人向けの2種類用意。アンケートを同封したところ、よかったという回答が多かった。青少年向けは、袋には入れず、ブックカバーをつけてスタッフのコメントを載せて青少年コーナーに並べたところ、好評だった。

【貫井】

毎年実施しており、好評である。福袋は年代別（青少年、高学年、低学年）で作成。期間は1/6～8の3連休中に行った。初日は利用者が福袋を手に入れるのに殺気立ち、福袋の期間中の登録者数も増えるほどだった。

【稲荷山】

一般 50 個、児童 20 個、YA5 個 合計 75 個の福袋が貸出された。英字新聞でエコバッグを作りその中に入れて貸し出している。今年は 1/5 から開始し、1 週間程度で終了した。

【小竹】

英字新聞でラッピングし、リボンをつけて貸し出している。スタッフ全員でおすすめの本を 3 冊選び、その本の解説（ポップ）をつけラッピングする。今年は 89 個の福袋を用意し、83 個が貸し出しされた。（期間は 1/5～8）残ったものを検証したところ、解説がよくわからないようなものは借りられなかったようだ。

【南大泉】

70 袋用意した。今回はアンケートを同封した。アンケート内容を見るとよかったという意見が多かった。一方で、福袋の本 3 冊とも全部よかったとは言えないといった意見もあった。

分室の福袋も用意したものがすべてなくなった。ラッピングなどに時間を要するため、追加で出すことができなかった。今後の課題である。

【春日町】

スタッフでテーマを決めて、95 袋作成した。1/11 までの予定だったが、1/8 になくなった。本は中が見えないように英字新聞で包み、袋に入れている。何個か当たりの袋があり、当たりにはしおりが入っている。次回はアンケートを入れたいと思った。

【南田中】

袋ではなく「おみくじ」方式でやっている。一般は「挑戦」「リフレッシュ」「健康」の 3 つのテーマで本を選んだ。児童にはおみくじの趣旨が伝わりづらかったようだ。青少年は利用が少なかった。

【管理係】

どの館も青少年が課題のようだ。福袋は引き続き実施するので、来年度もよろしく。

《次回は 2 月 19 日（月）午後 3 時から》